



日本写真映像専門学校・近畿測量専門学校合同卒業式が3月20日に帝国ホテルにて開式。今年は保護者の方が多く出席されて会場は満席になった。粛々と気品高く式は執り行われ、専門学校での学生生活を振り返る卒業生の脳裏には、いくつもの思い出のシーンが鮮明に蘇った。

日本写真映像専門学校 第60期生

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol. 45

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY

ホテルのアイスとプリンは絶品だったとか。



カレー、パスタがウマイ。もちろんお肉も上品でおいしい。あれもこれも食べているとラストのコーナーにあったアイスとプリンを食べ逃した学生がいた。オレのアイスは？

帝国ホテルの会場に張りつめた緊張感が漂う。合同卒業式は定刻に始まり、卒業証書の授与が厳格に進んでいく。一枚一枚の卒業証書の重みを彼らは感じ取り、いつになく神妙な面持ちで、きりつとした表情を見せる。ほとんどの女性は袴姿で、彩りよく華やかさを演出する。校長は祝辞で「ここからがスタートですよ。仕事を発揮して楽しい社会生活を送って下さい」と温かい言葉を贈る。続いて国土地理院部長による、今後の測量業界の話を頂き、同窓会長の励ましの言葉が続く。式は40分ほどで閉式となり、記念写真撮影の流れとなる。ここまでくると卒業生たちの表情にも、笑みが浮かぶ。集合写真ではどの席に座ろうかと右往左往。この光景はまるで教室での授業風景そのままである。この時が保護者のみなさんにとって、シャッターチャンス。我が子の晴れ姿を美しく撮ろうと親は必死になるのである。こちらの風

景のほうが写真としてはおもしろいかも。ステージを変えて、祝賀会が開かれた。各校から選抜の司会者が、おもしろく進行させていくが、卒業生たちは開放された勢いでやかましい。なかなか司会の声が聞こえない。これもいつものことではないですか。ホテルの食事は最高に美味しかった。いや、共に過ごした仲間たちとの食事だから美味しかったのだろう。宴の余興でビンゴゲームが始まると、ここが宴の最高潮。リーチだ、ビンゴだとまた一段とボルテージがあがる。景品の内容は二の次で、ビンゴカードの穴がいくつ開くかが騒ぎのモトになっている。いっぱい食べて、いっぱいしゃべった後は学生たちが感謝のトンネルを作る。その中をお世話になった先生たちが通るのである。これがクライマックス。握手、抱擁と輪の中は渋滞。涙のトンネルである(は)